

平成 26 年度 協働パイロット事業 課題テーマ

今年度は、各事業所管課から 4 件の課題テーマの提示がありました。

以下の内容をご確認いただき、静岡市の抱える課題の解決のため、貴団体のお力をお貸しくください。

No.	課題テーマ	事業担当課
1	動物園来園者増&満足度UPイベントの開催	日本平動物園 (お問合せ 262-3251)
静岡市の抱える課題等	<p>今年度 4 月にグランドオープンし、「猛獣館 299」、「ふれあい動物園」、「フライングメガドーム」等の施設を新設しました。</p> <p>その効果もあり、来園者数は前年度比で+約 5 万人と増加しました。</p> <p>しかしながら、ハード面の整備だけでなく、ソフト面である園内イベント等の充実が今後の課題となっております。</p> <p>そこで、<u>当園における動物達の魅力を効果的に市民の皆さまに伝えていくため、NPOの皆さまの持つ様々なアイデアと、我々の持つ経験や施設を融合させることで、これまで当園の職員だけでは考えつかなかったイベントや広報をご提案いただきたいと思います</u>と考えています。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
2	障がい児・者が、円滑に歯科医療を受診することができるときのための支援活動について	歯と口の健康支援センター (お問合せ 249-3147)
静岡市の抱える課題等	<p>障がい児・者の中には、歯科への受診が困難な場合が少なくなく、その対応の難しさから、静岡市障害者歯科保健センターや市内障がい児・者専門の歯科医療機関（県立こども病院等）では、慢性的な混雑状態となっております。</p> <p>診療に対しても最初から診療台で診察をできる患者は少なく、受診トレーニングの必要性が高まっているものの、専門機関でのトレーニングによって歯科受診が可能となっても、地域歯科医療機関に受診するには、改めて受診トレーニングが必要となる場合が多く見受けられます。この状況に対し、静岡市としても障がい者歯科保健推進事業の最重要課題として取り組んできましたが、十分な改善は認められていません。</p> <p>そのため、<u>NPOと協働し、皆さまの持つ障がい者支援等のノウハウを最大限活用させていただき、受診トレーニング方法を改善することで、障がい児・者の歯科受診が円滑に進むことにつなげていきたい</u>と考えています。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
3	静岡市内における自転車利用促進策について	交通政策課 (お問合せ 221-1471)
静岡市の抱える課題等	<p>静岡市は、平成22年の国勢調査で、自転車分担率が20%を超える全国でも自転車利用の多い都市です。自転車は二酸化炭素を排出せず、健康増進にも効果的であり、さらに観光利用や地域経済に寄与できる可能性を持った乗り物と言えます。</p> <p>これを踏まえ、現在、静岡市では「自転車を活かしたまちみがき」を推進しており、その柱として自転車利用促進策についても検討を行ってきました。</p> <p><u>この自転車の利用促進策を効果的に実施するため「市民」や「自転車利用者」といった視点を持ったNPOから広く事業提案を募集し、協働事業を行うことで、まちづくりにおける自転車の役割強化を図っていきたいと考えています。</u></p> <p>加えて、自転車利用者の交通安全意識、マナーの向上にもつなげていきたいと考えています。</p>	

No.	課題テーマ	事業担当課
4	心に響く「情報発信」による草薙ブランド向上	清水駅周辺整備課 (お問合せ 354-2018)
静岡市の抱える課題等	<p>清水区の草薙地区は、JR草薙駅・静鉄草薙駅周辺に多くの商店、飲食店、静岡銀行本店などの商業施設の集約があると同時に、大学、図書館、美術館といった学術・文化的施設の集約もあります。また、有度山の自然や、草薙神社をはじめとする歴史的資源も豊富にあり、地域資源に恵まれています。</p> <p>しかしながら、「商業」「学術」「文化」「自然」が交差する草薙地区の魅力は、まだまだ市民の皆さまに身近に感じていただけていないことから、<u>「まちと自然を結び、新たな地域資源を発掘して情報発信する活動」を協働して実施することを提案します。</u></p> <p><u>具体的には、草薙駅周辺から様々な地域資源を結び、有度山周辺の自然散策にも活用できる「まちと自然をつなぐ情報」を発信して行きたいと考えています。</u></p> <p>これまでの行政による「広報誌」「ホームページ」「チラシ」などとは一味違った市民活動団体ならではの柔軟な発想で、地元に着した幅広い年齢層を対象としたユニークな情報の発信を行い、「草薙ブランド」をさらに向上させる協働事業を行いたいと考えています。</p>	